



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



ロータリーの心を
Rotary International

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝
事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



1997.8.20 No.3

新世代のための月間

バンドウイルカ「リップ」
(南知多ビーチランド)

9月は 新世代のための 月間です

1997～'98年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝



「SHOW ROTARY CARES」

キンロスRI会長の新鮮なテーマのもと、いよいよ新年度がスタートしました。

9月は新世代のための月間です。前年度のジアイRI会長は、「次の世代を準備することにより、未来を築きましょう」と、ロータリアンの青少年活動強化を重点項目の一つにされました。去る6月、グラスゴーでの年次大会では、96-97年度中に世界中で6000をこえる青少年プロジェクトが実行され、その効果は更に拡大されていると、ジアイ会長（当時）から報告がありました。言うまでもなく、環境問題と新世代の育成は、未来に責任を持つ地球市民として、私たちが正面から取り組まなければならぬ2つの課題です。継続は力なりと言います。キンロス会長の方針は、「ロータリーの心」を引続き次の時代を担う健全な青少年の育成に注ぐよう、要請されていると確信します。

地区の青少年活動としてはインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、青少年指導者養成プログラム（RYLA）の3つがあります。

前年度は松本パストガバナーのご方針を体して、それぞれ立派な成果をあげられました。また各クラブでも青少年活動委員会および関係小委員会を中心に、国際青少年交換の実施、いろいろな対話集会や研修会の開催、スポーツ活動の支援その他有意義な活動が行われていることに、心から敬意を表します。

私は松本パストガバナーのご方針と実績をひき継ぎ、97-98年度も2760地区の最重要課題として、各種の青少年活動を積極的に展開し、これまでの成果を更に上積みしたいと思います。

さて昨今の世相は、神戸や奈良の事件に見られ

るように、青少年による特異な犯罪が続き、一方大人の世界でもあいにく金融不祥事件が報道され、わが国の前途に不安を感じるほどの状態です。

しかし私どもロータリアンは、この暗さを打破して本来の職業活動に精励し、激動の時代を乗り切ると共に、次世代を担う青少年の範となれるよう、努めなければなりません。

青少年非行の増加は、社会の乱れや受験競争にかたよる学校教育の間違いが、大きな原因だと言われています。また家庭における「心の救済力」の低下と放任、地域社会の青少年教育に対する関心の喪失も問題です。

しかし私は青少年の大部分が、そのような環境劣化のなかでも意外に健全で、むしろ大人社会の混乱を心配しながら眺めているのではないかと思います。

もちろん家庭や教育関係者の、地道な努力のためのものであり、私どもロータリアンの青少年活動も、少なからずお役に立っているはずです。

昔は私どもも「今時の若い者は」とよく言われ、抵抗を感じていました。同じことを私どもが言っていたのでは、進歩はありません。

ロータリアンの青少年活動の基本は、若い彼等の一人ひとりの心のなかに私どもが立ち入り、できるだけ彼等の心を理解し、同じ目線の高さで話し合い、共に学び、その喜びと楽しさを分かち合うことにあると思います。

あと3年余りで21世紀です。青少年たちは、彼等が日本を背負って立つ21世紀から、私たちの20世紀に留学に来ていると思ひましょう。

ボーダレスの時代です。彼等の活躍が期待される21世紀の舞台の大きさは、文字どおりの地球規模です。

私どもは彼等から聞くべきは聞き、人間の先輩として、あるべき心の持ち方と実践の姿を、謙虚に示したいと思います。

地区内ロータリアンの皆様、新年度も青少年活動活性化のため、格別のご尽力たまわりますようお願い申し上げます、ご挨拶とします。

新世代のための月間によせて

地区青少年活動委員会 委員長 加藤 正男



9月は新世代のための月間に指定されています。若い人たちの育成を担当するすべてのロータリー活動に焦点をあてることが目的です。

《ロータリーの心を新世代と共に！》

本年度の新世代のための月間には、まさに当地区の新世代活動の歴史に新しいページが加えられるようとしています。

9月15日、犬飼栄輝ガバナー主宰行事として新世代のためのロータリー園遊会が実施されます。財団・米山奨学会・青少年交換・インターアクト・ローターアクト、以上5つの地区委員会のサポート及びホストを担当される犬山ロータリークラブのご支援のもと、地区内全クラブが中心となって行われる今回のまことに有意義なプログラムから大きな成果が得られるものと確信しています。

「各ロータリアンは青少年の模範」(Every Rotarian an Example to Youth)という国際ロータリーに共通する標語を新世代のための月間中のクラブ会報や広報資料に使うことが奨励をされています。

ロータリアンズが人格形成期にある若い人達のために展開しているプログラムは、ロータリーの最も大切で有効な奉仕活動と申せましょう。明日のリーダーとなるべき若い人達のために何をなし得るか？自己の悩みが多かりし青春を振り返りつつ不特定多数の若い人達に心を尽くすことは、ただ義務とか責任ではなく、ロータリアンとして当然のことと思われます。

手続き要覧は新世代のためのロータリープログ

ラムについて次のように解説しています。

【使命】各ロータリアンの責任は、年齢30才までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良き未来を確実なものとするために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることである。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手する様奨励されている。基本的ニーズとは：健康、人間の価値、教育、自己開発である。(詳しくは手続要覧第8章新世代のためのロータリープログラムをご参照下さい)。

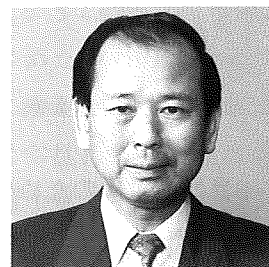
【目的】新世代のためのロータリープログラムの目的を列記します。

1. 環境を知る。理解する。(新世代に影響を及ぼす市内の状況、要素)
2. ニーズを認識する。(健康、教育、精神的資質、職業選択、職業予備教育)
3. 新世代関係の活動を奨励する。(ロータリアンとして、ロータリークラブとして)
4. 鼓舞する。(責任の認識、善良な市民精神)
5. 推進する。(世界情勢の理解、他国の人に対する態度)
6. 理解を深める。(新世代と個人的に接触する。意志疎通をはかる研究をする。他国の新世代と接触。)

末筆ながら新世代のための各種プログラム：ロータリー会議、個別相談、支援、インターアクト、ローターアクト、ライラ等を通じて新世代のために心を尽しておられる各クラブ・ロータリアンズに対し、深甚なる敬意を表します。

国際・福祉社会に通用する 青少年の育成

地区インターアクト(小)委員会
委員長 坂本 康信



さて、今月は新世代のための月間で青少年に関して理解を深めることが必要かつ重要であります。

ご承知の如く日本の、21世紀に向かった課題は、世界のなかで如何に生きぬいてゆくか、という国際社会への対応と超高齢化社会に対応するための福祉、その実現に大きな役割を担う、しかも国際社会に通用する青少年の育成が重要かつ急務であります。

現代社会は複雑多様な動向を示し、管理化、情報化といった現代特有の問題状況を生み出し、価値観の混乱、生活環境の破壊、生き甲斐の喪失、健康の阻害、生命の軽視等々。具体的には最近のイジメの問題、神戸児童殺害事件等々の諸現象に象徴されていることは周知の事実であり、その中において青少年の非行化、シンナー等薬物乱用、自律神経の異常による登校拒否児の増加、性犯罪、援助交際等特に心の問題等青少年に関わる諸問題は絶え間がありません。

このような状況を克服するために青少年活動は必要かつ重要である。即ち青少年活動は、遊びや小集団活動を通して社会的、情緒的発達を促し、更に人間関係を学び、責任感、正義感、忍耐力、愛情、勇気、自主性、自発性、などを養い、国際化社会に通用する人間形成を図ります。

国際ロータリークラブが推進しているインターアクトクラブは、時代を担い、国際・福祉社会に通用する青少年の育成に貢献をしており、その働きが今以上に期待されております。ロータリークラブがインターアクトクラブの提唱にチャレンジする事は大変価値があり、意義深いものであります。

1996～'97年度

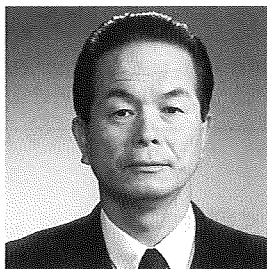
I. A. C. 海外研修派遣参加者名

学校名	氏 名	学年
岡 崎 城 西	小 松 誠 明 (男)	3 年
	長 一 成 (男)	3 年
豊 川 高 校	寺 井 史 (女)	3 年
	藤 原 恵 美 (女)	3 年
豊 田 高 専	清 水 規 裕 (男)	3 年
	杉 山 直 子 (女)	3 年
	後 藤 美 香 (女)	3 年
豊 橋 商 業	大 原 綾 (女)	3 年
	藤 城 恵 (女)	3 年
	山 崎 久 美 子 (女)	3 年
梶 山 高 校	山 田 梓 生 (女)	2 年
東 海 女 子	服 部 加 奈 (女)	2 年
岡 崎 学 園	高 野 喜 美 (女)	3 年
	永 田 博 子 (女)	2 年
	竹 山 桂 子 (女)	2 年
安 城 学 園	佐 藤 優 貴 (女)	3 年
	都 築 良 子 (女)	3 年
	森 野 可 世 (女)	3 年
津 島 女 子	丹 後 里 奈 (女)	3 年
	外 山 ち は る (女)	3 年
	山 内 梨 恵 (女)	3 年
一 宮 女 子	岩 田 佳 世 (女)	3 年
	中 島 順 子 (女)	3 年
	牧 野 佐 保 (女)	2 年
光 ヶ 丘 女 子	鈴 木 美 穂 (女)	3 年
	平 野 ゆ り (女)	3 年
	青 嶋 加 奈 子 (女)	2 年
阿 久 比 高	石 塚 理 (男)	2 年
	石 黒 彩 乃 (女)	2 年
	佐 藤 明 子 (女)	2 年
千 種 高 校	栗 谷 し の ぶ (女)	2 年
	大 嶋 あ ず さ (女)	2 年
	山 田 茜 (女)	2 年
名 短 付 高	堀 尾 政 世 (女)	3 年
	高 柳 綾 子 (女)	3 年
	山 邊 文 (女)	3 年
団 長 副 団 長 アドバイザー アドバイザー オブザーバー	石 井 恭 二 (男)	
	Sr. コンセプション (女)	
	坂 本 康 信 (男)	
	山 口 誠 一 (男)	
	鬼 木 正 男 (男)	

※ 実施報告は次号で致します。

ライラについて！

地区ライラ（小）委員会
委員長 石田 喜運



本年度、ライラ（小）委員長を仰せつかり、第6回ライラセミナーを担当させていただきます。セミナーの開催に際しては、各クラブに受講生の派遣と青少年活動委員長の出席を要請させて頂き、実りあるセミナーになることを心から願っております。

ロータリーが次の世代を担う新世代にかける期待と夢が如何に大きいかは、四大アベニューのうち三大アベニューまでに及んでいることで明らかです。昨年度は『新世代会議』が提唱され、各クラブは地域社会において新世代と共に有意義な活動がなされ、新たな青少年活動の展開が予感されます。ライラプログラムの果すべき役割も大きくなるのではないのでしょうか。

ライラ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、年令18才～30才までの新世代の指導者の育成と善良な市民としての資質を伸ばすことを目的に、多くの国及び地区で実践されております。

ライラセミナーは各クラブの提唱プログラムに参加している新世代の団体、グループの若者を受講生として、クラブに派遣を要請をし、1泊2日の予定で新世代の交流と意見交換の機会と考えております。本年度第6回セミナーは『受講生の意見の抽出と交換を積極的に計り、テーマへの新世代の提言を…』を趣旨として開催を次の要領にて計画をしております。

第6回ロータリー青少年指導者養成セミナー(ライラセミナー)

開催日 1998年4月4日(土)～5日(日)

会場 ホリディ・インクラウンプラザ豊橋

何卒、ライラに対する更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。

時代変化と青少年教育

地区ローターアクト（小）委員会
委員長 石川 敬



今、青少年をどのような環境のもとで、日常生活を過ごさせるかは、世界各国ともその国の歴史・文化などによって事情が大きく異なっている。

よくわが国の教育は、画一的で詰めこみ第一主義の受験勉強のために、学生が合格後は無気力となり知的なものに無関心になっていると言われる。すなわち、わが国の大学生は欧米の青少年と比し、独創性ある行動を展開させる事は無能に近いと揶揄されているのである。しかし日本の受験社会の構造は、ここ少し前から始まったものではない、もう何十年も前から続いているわけである。今の学生達はマルクス主義などが廃れて、文化思想というか、学生文化がエンターテイメント型のものに変わったことがポイントであり、単に受験勉強と制度の問題だけではなさそうである。

最近のテクノロジーの発達、遺伝子操作、ライフサイエンス、臓器移植、環境問題などの問題を提起し、社会での解決をせまっている。問題解決に必要なものは、専門的・技術的知識では無力であり、文明や人間についての深い洞察力だといわれている。その洞察力を習得するには、思想・文化・歴史などの「人文的教養」を養うことが必要といわれる。人文的教養の裏打ちなしにテクノロジーのみが発展することはむしろ危険である。その事例は、最近の首切り中3殺人事件や宗教教団事件で明らかである。いまや大学教育、いや青少年教育は、事の善悪を区分出来る洞察力を養う人文的教養を広く深く習得させる時代にあることを痛感する昨今である。

“第8回インターアクトクラブ協議会”

—体験学習を通じ、思いやりの心を養う—

地区インターアクト(小)委員会 委員長 坂本 康信

インターアクトクラブは、年に一回協議会を開催し、共に学び、会員同志の交流を図っています。

第8回(通算第34回) R. I. 第2760地区インターアクトクラブ協議会は、去る7月20日(日)、午前9時30分から午後3時30分まで、津島勤労福祉会館大ホール、会議室において、津島ロータリークラブ並びに津島女子高校インターアクトクラブのホストによって開催され、第2760地区犬飼栄輝ガバナーをはじめ、片山主水地区幹事、加藤千博西尾張分区代理、加藤正男青少年活動委員長、地区インターアクト委員、そして13インターアクトクラブの会員・顧問の先生376名、関係ロータリアン176名、ゲスト2名、合計554名が参加し、大盛会でした。

今回の協議会は、テーマに“ONE FOR ALL AND ALL FOR ONE ～やってみようみんなで、感じてみよう自分で～にもとずき、講演、六つの分科会で体験学習を通じて、学びと思いやりの心を養いテーマに相応しく感動的であり大成果であった。

<開会式>

津島女子高校インターアクトクラブ山内梨恵副会長の司会により、丹藤里奈会長の点鐘、伊奈枝里子幹事の開会宣言、国歌斉唱、インターアクトクラブの歌、津島インターアクトクラブ丹藤里奈会長並びに津島ロータリークラブ岡田和彦会長より歓迎の挨拶、浅井賢次インターアクトクラブ協議会実行委員長により出席地区役員・委員及び各ロータリークラブの紹介、伊奈枝里子副会長により参加クラブの紹介、つづいて第2760地区犬飼栄輝ガバナー、加藤正男地区青少年活動委員長、津島女子高等学校平山哲明校長より挨拶をいただいた。

参加 I. A. C. は、

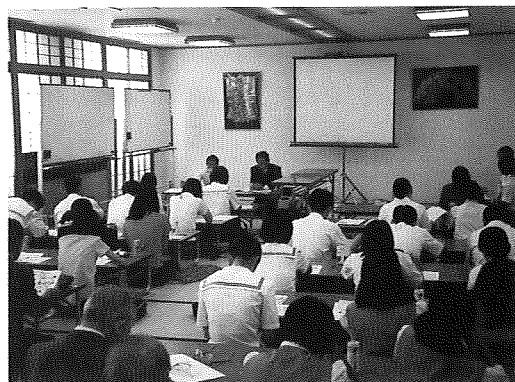
豊川(18名)、豊田高専(20名)、豊橋商業(26名)、岡崎城西(27名)、名古屋(9名)、岡崎学園(57名)、安城学園(19名)、津島女子(38名)、一宮女子(33名)、光ヶ丘女子(53名)、阿久比(34名)、千種(20名)、名短付属(22名)

合計13インターアクトクラブ

参加 R. C. は、28クラブ 176名



I. A. C. 協議会開会式—犬飼ガバナー挨拶



分科会—分別収集とリサイクルを学ぶ



分科会一点字を学ぶ



I. A. C. 海外派遣研修壮行会

<講演>

『外国人との上手な接し方』について、株式会社ジェアンドシートラベルの山田耕士・美鈴社長夫妻により、事例を通じてわかりやすくホームスティでの失敗やマナーの在り方、ノー・イエスの使い方等を学び、更に海外で自分を見つめ直して、自分を変えてゆく事が大切であると示唆を与えられた。

<分科会>

今年は、下記の如く進められた。

第1分科会「盲導犬について理解を深めよう」

講演、盲導犬による歩行体験

第2分科会「手話について理解を深めよう」

講話、手話実践

第3分科会「点字について理解を深めよう」

講話、点字実践。

第4分科会「分別収集とリサイクルについて理解を深めよう」

スライドによるゴミ処理の現状、リサイクルの現状と課題の講話。

第5分科会「介護について理解を深めよう」

講話、介護の基本技術。

第6分科会「国際交流に取り組もう」

津島女子高校交換留学生との交流。

<昼食会>

サンドイッチ、やきそば、ジュース、果物、氷等々を食べながら交流をはかる。

<海外研修派遣壮行会>

第10回インターアクトクラブ海外研修派遣参加

者に対する激励の時がもたれ、坂本康信地区インターアクト委員長より挨拶並びに団長の紹介、犬飼栄輝ガバナーより激励の言葉が贈られた。石井恭二団長（一宮女子高校I.A.C顧問）の挨拶並びに団員の紹介、団員を代表して豊田高専3年の清水規裕君と名短付属高校3年の堀尾政世さんが誓いの言葉を力強く述べた。更に参加者一同で英語の歌を二曲披露。

<分科会の報告>

各分科会の報告が代表によりされたが、いずれも大変すばらしい成果を収めた発表であった。

<閉会式>

犬飼栄輝ガバナーより講評、坂本康信地区IA委員長より閉会挨拶とともに次年度ホスト一宮北ロータリークラブ、一宮女子高校I.A.Cが紹介され、島田真理子一宮女子高校I.A.C会長、大森克孝一宮北ロータリークラブ会長より次年度I.A.C協議会開催のアピールがされた。

最後に、伊奈枝里子津島女子高校インターアクトクラブ幹事による閉会宣言、丹藤里奈会長による点鐘により、第8回（通算34回）国際ロータリー第2760地区インターアクトクラブ協議会が大成果を収めて閉会した。

今回のホスト役の津島ロータリークラブ並びに津島女子高等学校インターアクトクラブの皆様大変ご苦勞様でした。皆様の周到な準備により新しい感動的な協議会を開催いただき、この場を借りて心より感謝を申し上げます。

また犬飼栄輝ガバナーをはじめ地区役員・委員の皆様のご支援に対し御礼申し上げます。

「アクト AICHI・リバーズ」メッセージ伝達式

「愛知県青少年保護育成条例」改正施行日の7月1日、愛知県警察本部からRC、RACはじめ21団体へ「有害環境浄化対策の一環として、青少年の健全な育成に悪影響を及ぼす行為の防止と青少年の非行抑止機能及び活動の再生を目的としたキャンペーン『アクトAICHI・リバーズ』」のメッセージ伝達式が行われた。名古屋市中区ホテル三の丸会館には関係者約60名が参加し、県警察本部から「青少年を取りまく環境は大人が作っていかねばならない。ご協力をお願いしたい。」代表のR. I. 第2760地区ローターアクト石川委員長から「若い世代の育成に力をいれている。出来る限り協力していきたい。」との挨拶があり、ローターアクトクラブ江村地区代表が決意表明を朗読した。最後に警察本部から、少年非行と有害環境の現状についての報告があった。



メッセージ伝達



県警察本部
生活安全部長
長屋 幹夫 氏



愛知県総務部
青少年女性室長
森田 良子 氏



ローターアクト
委員長
石川 敬 氏
(一宮中央RC)



ローターアクトクラブ
地区代表
江村 公一 氏
(名古屋熱田RAC)

少年の非行防止及び健全育成のためのメッセージ
～アクト AICHI・リバーズ～

暑気きびしき折、貴団体におかれましては、常日頃から、警察活動に対し、深いご理解とご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

さて、最近の少年非行は増加傾向にあり、特に、高校生による覚せい剤乱用事犯をはじめ、グループによる傷害や恐喝、おやじ狩りに見られる暴力非行、援助交際名下の性非行の増加等、悪質化、集団化しており、我が国の将来を担う少年の健全育成にとって憂慮される状況となっております。

これら少年非行の要因を見ますと、過激な暴力や誤った性を肯定する雑誌や情報等の氾濫、少年の性非行を助長するテレホンクラブ、ツーショットダイヤル等の営業、溜まり場となる深夜営業店等の増加など少年を取り巻く有害環境の増加や地域社会、家庭の教育など非行抑止機能の低下にあると思われます。

このため愛知県警察本部では、本年4月1日より、少年を取り巻く有害環境の浄化と地域における非行抑止機能の再生による少年の健全育成活動の活性化を図るため、「アクトAICHI・リバーズ」のスローガンのもと諸活動を推進しておりますが、この活動をより実効あるものとするには、貴団体の協力が必要不可欠であります。

貴団体におかれましては、「アクトAICHI・リバーズ」の趣旨にご賛同を頂き、少年の非行防止及び健全育成のため、諸活動の推進をお願い申し上げます。

平成9年7月1日

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝 殿

愛知県警察本部長
漆間 巖



今年度の抱負

ローターアクトクラブ
地区代表 江村 公一
(名古屋熱田RAC)



こんにちは 今年度、地区代表を務めさせていただくことになりました名古屋熱田ローターアクトクラブの江村公一です。

新年度を迎え、皆さまのロータリークラブも新たな気持ちで、クラブ活動に打ち込んでいらっしゃると思います。ローターアクトの地区も短かい準備期間でバタバタしましたが、地区幹事の南君をはじめ、地区のスタッフの努力により無事に年度をスタートすることができて、一段落といったところです。

さて今年度は、ローターアクトの親睦に加えてアクト全体と個人に資質を高めて頂きたい、『STEP BY STEP』という地区ターゲットを掲

げました。

ローターアクトクラブは、ロータリークラブの協力により、奉仕活動や親睦活動を通じて、様々なチャンスを私達に提供していただいています。そのチャンスを掴み、活かすのは、ローターアクトである我々自身です。

今年度は、アクターが何か目的を持ってアクト活動をして、1人1人がそして各アクトクラブがそして2760地区全体がレベルアップしていける様なばっていくつもりですので、ロータリーの皆様にもアドバイス等いただければ幸いに思います。

今年度1年間よろしくお願いします。

1997～'98年度 名古屋第二分区10RC共同提唱「名古屋名城ローターアクトクラブ」に関する報告事項

(1) 共同提唱主管クラブの変更（合同ローターアクト委員会内規により2年交代）

現・名古屋北ロータリークラブの提唱主管から名古屋東ロータリークラブに変更

1997年7月1日から1999年6月30日までの間

・関係文書送付先 名古屋東ロータリークラブ 〒460 名古屋市中区錦3-14-25 アサヒビル 6階
TEL (052) 971-8686 FAX (052) 971-8855

(2) 共同提唱クラブの増加

現・9ロータリークラブに名古屋東山ロータリークラブが参加

名古屋北・名古屋東・名古屋守山・名古屋和合・名古屋名東・名古屋名北・名古屋千種・

名古屋昭和・名古屋錦・名古屋東山（以上、名古屋第二分区内10ロータリークラブ共同提唱）

1997～'98年度 第2760地区 ローターアクト年間公式行事一覧

開催日	行事名	場所	ホスト等
1997. 9.13(土)～14(日)	国内研修	静岡2620地区	地区
9. 7(日)	ローターアクトの日 三河ゾーン	赤羽根海岸	田原RAC
9. 7(日)	尾張ゾーン	小牧山	小牧RAC
9.21(日)	名古屋ゾーン	大池公園	東海RAC
11.16(日)	地区部門別協議会	一宮	一宮RAC
1998. 1.21(水)～27(火)	海外研修	米国西海岸	地区
2.28(土)～3.1(日)	全国ローターアクト研修会	京都	第2650地区
3.13(金)	世界ローターアクトデー		各RAC単位
3.22(日)	地区親睦行事	岡崎	岡崎RAC
4. 4(土)～ 5(日)	第6回ライラセミナー	豊橋	豊橋ゴールデンRC
4.25(土)～26(日)	地区年次大会	名古屋	名古屋熱田RAC

ブラジル・サンパウロ派遣団員募集!

今年度犬飼ガバナーは新世代育成の一環として、ロータリー財団の「研究グループ交換G.S.E」をブラジル第4430地区(サンパウロ)のガバナー、モリ・カズヒロ(森 和弘)氏と組み、実施することをアナハイムでの国際協議会で確認されました。

(G.S.Eの実施は)

日本グループ派遣 1998年5月～6月 4週間の予定
(サンパウロ地区大会5/21～24)

ブラジル・グループの受入れ 1998年4月～5月

研究グループ交換(Group Study Exchange)とは
—R.I.手続き要覧より抜粋—

ロータリー財団研究グループ交換は次の三つの目的のために計画された文化交流プログラムである:

- 1) 事業および専門職務に携わる優秀な人を、他国において計画準備された研究討論プログラムに参加させることによって、その国とその国民並びに諸施設とを研究する機会を与えるため;
- 2) 善意の人々が、友好的雰囲気の中に相会し、語り合い、生活を共にして、相互の問題や抱負を理解するようになり、かくして個人的接触を永続的友情へはぐくむことにより国際理解を増進するため;
- 3) 研究グループのチームのために教育的プログラムを作成し、チームを歓待することによって、ロータリアンを、具体的、实际的かつ有意義な国際奉仕プロジェクトに参加させるため;

このプログラムは、異なる国に属す二つの地区で研究グループを交換するものである。それぞれのグループは、十分な資格を備えた事業または専門職務に携わる人4名とチーム・リーダーを務めるロータリアン1名によって構成される。全員が同じ地区の出身である。配偶者は、チームに同行できない。(管理委員会92)

つきましては、派遣する青年男女の社会人(25才～35才)を募集するため、各クラブおよびロータリアンのご協力をお願いいたします。

募集人員: 4名(メンバーに1名のロータリアンがリーダーとして付き添う)

資格: 一般に認められている事業または専門職務に、フルタイムで雇用され、または携わっている方。

日本の国籍を有し、愛知県内に雇用または居住している方。また、健康かつ職業に熱心な方。英語が出来る方。

ロータリアンの企業の社員は資格がありますが、子弟は除きます。

費用: 往復航空運賃や旅行滞在費は、ロータリー財団および受入れ側のロータリーが負担します。(ロータリー財団は、ホスト国までの往復航空運賃を支給し、受入れ側のロータリアンは訪問チームの研究旅行に直接関係する諸費用を負担します)

訪問先: 国際ロータリー第4430地区サンパウロ。ブラジルの経済を支える商工業都市サンパウロは、約1,600万人の人口を抱えるブラジル一の大都市。“人種のるつぼ”と例えられるように、ブラジルの中でも特に人種の多様化が進んでいる刺激的な町です。

応募方法: 愛知県内の最寄りのロータリークラブを通じ、下記の応募書類を提出して下さい。

- ①履歴書(所定事項・経歴事項をご記入下さい)
- ②写真 1枚(サービス版・上半身を写したもの)
- ③応募動機(400字詰原稿用紙2枚程度にまとめて下さい)

④募集期間 1997年7月25日(金)～9月10日(水) 必着。

選考: 面接等にて1997年10月31日までに選考いたします。

連絡先: 研究グループ交換(小)委員会 委員長 松前 憲典
〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル417号室
国際ロータリー第2760地区ガバナー事務所内
TEL: 052-561-0020 FAX: 052-561-0021

[収 入 の 部]

ホストクラブ：名古屋名東ロータリークラブ

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
地区助成金	1,100,000	1,100,000	
参加クラブ登録料	18,590,000	20,163,000	参加者 1551名×13,000円
米山記念奨学会補助金	400,000	425,390	食事代 83名×4,000円 会場費 81,000円
雑収入	220,000	160,000	祝 儀 140,000円 出店料 10,000円×2
ホストクラブ負担金	50,000	39,524	
合 計	20,360,000	21,887,914	

[支 出 の 部]

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
1. 指導者会議	1,900,000	1,900,000	指導者会議費 1,500,000円 指導者会議記念品 400,000円
小 計	1,900,000	1,900,000	
2. 地区協議会			
会場費	4,850,000	4,682,302	会場室料
昼食費	6,600,000	6,874,577	割り弁当 オレンジジュース 他
友愛の広場	1,340,000	1,770,931	呈茶 ジュース サンドウィッチ 他
会場設営	1,500,000	1,652,882	椅子借用料 受付パーテーション 他
会場運営	1,700,000	1,648,390	分科会看板他 登録用名札 封筒・記念品 他
小 計	15,990,000	16,629,082	
3. 庶務関係	1,190,000	1,510,610	プログラム作成費 計画概要書等作成費用 他
小 計	1,190,000	1,510,610	
4. 実行委員会			
会議費	350,000	383,728	実行委員会会議費 他
事務費	880,000	1,371,731	事務局人件費等 会議記録ビデオ・写真 他
小 計	1,230,000	1,755,459	
5. 雑費	50,000	92,763	事務用消耗品 他
小 計	50,000	92,763	
合 計	20,360,000	21,887,914	

第1回 地区諮問委員会開催

去る7月18日(金)に諮問委員会が開かれ、下記委員会委員の委嘱が決定しました。

2. 1997～'98年度 地区大会関連委員会

1. 1997～'98年度 意義ある業績賞選考委員会

- ・委員長 宮地 信尚 (P.D.G)
- 委員 蜂谷 弘道 (P.D.G)
- 委員 石川 和昌 (P.D.G)
- 委員 松本 宏 (P.D.G)

2. 1997～'98年度 地区大会関連委員会

○信任状資格審査委員会

- ・委員長 松本 宏 (P.D.G)
- 委員 蜂谷 弘道 (P.D.G)
- 委員 神戸 政治 (P.D.G)

○選挙管理委員会

- ・委員長 加納 泉 (P.D.G)
- 委員 高沢 隆 (P.D.G)
- 委員 田中 徹 (P.D.G)

○大会決議委員会

- ・委員長 石川 和昌 (P.D.G)
- 委員 宮地 信尚 (P.D.G)
- 委員 盛田 和昭 (P.D.G)

○登録委員会

- ・委員長 松井 昭 (田原RC)
- 副委員長 森下 昭造 (田原RC)
- 委員 彦坂 登 (田原RC)
- 委員 鶴飼 捷雄 (田原RC)
- 委員 宮木 幸彦 (田原RC)
- 委員 山田 年清 (田原RC)
- 委員 石川常太郎 (田原RC)

○地区大会企画委員会

- ・ガバナー 犬飼 栄輝 (名古屋東南RC)
- バストガバナー 石川 和昌 (豊橋RC)
- バストガバナー 松本 宏 (半田RC)
- ガバナーノミニー 内藤 明人 (名古屋西RC)
- 地区幹事 片山 主水 (名古屋東南RC)
- 東三河分区分区代理 鈴木 省三 (蒲郡RC)
- 前大会実行委員長 木村 章二 (稲沢RC)
- 前大会幹事 塚本 胤男 (稲沢RC)
- 大会実行委員長 広中 康男 (田原RC)
- 大会幹事 石原 道規 (田原RC)
- 次年度大会実行委員長 各務 芳樹 (名古屋東南RC)
- 次年度大会幹事 宮崎 薫 (名古屋東南RC)
- 次期地区幹事 岩間 俊夫 (名古屋西RC)

3. 地区リーダーシッププラン検討委員会

- ・委員長 加納 泉 (P.D.G)
- 委員 石川 和昌 (P.D.G)
- 委員 松本 宏 (P.D.G)
- 委員 内藤 明人 (D.G.N)
- 委員 森 武保 (元地区幹事)
- 委員 神野 紀郎 (元地区幹事)
- 委員 内田 栄一 (前地区幹事)
- 委員 片山 主水 (地区幹事)
- 委員 岩間 俊夫 (次期地区幹事)

4. 固定事務所設立準備委員会

- ・委員長 田中 徹 (P.D.G)
- 委員 内藤 明人 (D.G.N)
- 委員 矢島 茂 (地区R財団委員長)
- 委員 小田 公平 (地区米山記念奨学会委員長)
- 委員 木本精之助 (地区青少年交換(小)委員長)
- 委員 鈴木 孝則 (元地区幹事)
- 委員 内田 栄一 (前地区幹事)
- 委員 片山 主水 (地区幹事)
- 委員 岩間 俊夫 (次期地区幹事)

5. 地区10周年記念誌委員会

- ・委員長 松本 宏 (P.D.G)
- 委員 奥谷 博俊 (P.D.G)
- 委員 森 武保 (元地区幹事)
- 委員 内田 栄一 (前地区幹事)
- 委員 杉浦 三郎 (前地区副幹事)
- 委員 竹倉 健治 (前地区副幹事)
- 委員 福島 啓氏 (地区副幹事)

6. G.S.E 選考委員会

- ・委員長 松前 憲典 (地区G.S.E (小) 委員長)
- 委員 福田 浩三 (P.D.G)
- 委員 松本 宏 (P.D.G)
- 委員 内藤 明人 (D.G.N)
- 委員 矢島 茂 (地区R財団委員長)
- 委員 佐竹 弘 (地区G.S.E (小) 委員)
- 委員 山田 達 (地区G.S.E (小) 委員)
- 委員 加納 隆 (地区G.S.E (小) 委員)
- 委員 犬飼 芳樹 (地区G.S.E (小) 委員)
- 委員 水野房治郎 (地区G.S.E (小) 委員)

1997～'98年度

地区役員及び会長・幹事懇親会開催で報告

地区副幹事 福島 啓氏

7月18日(金)名鉄グランドホテル「竹梅柏」の間において新年度の地区役員及び会長・幹事懇親会が開催されました。

当日は、ガバナー、パストガバナー、ガバナーノミニ、地区幹事、地区副幹事、地区会計長、地区会計監事、分区代理、分区代理幹事、カウンセラー、委員長、副委員長そして地区内76クラブの会長・幹事が参加し、合計219名の参加のもとに盛大かつ和やかに行われました。

カバナーと分区代理は、今年度のロータリーカラーであるグリーンのブレザーを揃いで着用し、犬飼ガバナーのニューリーダーシッププランにける意気込みが感じられました。

犬飼ガバナーの今年度における取組み方針、特にロータリーが組織としての活動を維持するためには今まで以上に「ハウレンソウ」つまり報告、連絡、相談が必要とされる等の期待を込めた挨拶がなされた後、松本宏直前ガバナーの祝辞、更に堀田逞二名古屋第一分区分区代理、

宮本昌幸地区職業奉仕委員長、清水貞彦名古屋名駅RC会長の楽しくかつそれぞれの特徴ある挨拶が行われました。

盛田和昭パストガバナーの音頭による乾杯で懇親会の部が始まると会場は一挙ににぎやかな雰囲気につつまれ、和気あいあい状態となりました。

また、アトラクションとして「真琴会」による大正琴の演奏も大いに雰囲気を盛り上げました。

最後は、鈴木省三東三河分区分区代理の音頭による万歳三唱により幕を閉じました。

このような会合は、当地区では初めての試みであるとのことですが、当日の会場を見る限りでは参加者一同大いに懇親を深めたように思われました。



分区代理



犬飼ガバナー

1997～'98年度

地区委員会追加・変更のお知らせ

1. ロータリーの友委員会

・委員長の吉田静氏が体調不良のため、副委員長種村桂介氏と交代致しました。これにともない、ロータリーの友地区委員も種村氏に交代となりました。

委員長 種村 桂介 (名古屋栄RC)

※ロータリーの友地区委員

副委員長 吉田 静 (名古屋東南RC)

2. インターアクト(小)委員会

・委員の加藤仁氏が退会されましたので、後任に森久一兵氏を選任致しました。

委員 森久 一兵 (瀬戸北RC)

自宅住所: 〒480-12 瀬戸市品野町4-301

TEL 0561-41-1122

勤務先住所: (株) 森久学園 代表取締役学園長

〒480-12 瀬戸市品野町4-301

TEL 0561-42-0811

FAX 0561-42-0300

3. 研究グループ交換(小)委員会

・委員を一名あらたに選任致しました。

委員 石川 百代 (豊橋RC)

自宅住所: 〒440 豊橋市船町128-29 フィオーレ豊橋203

TEL 0533-55-5016

勤務先住所: 日本ジュース・ターミナル(株) 業務部長

〒441 豊橋市神野西町1-2

TEL 0532-33-1951

FAX 0532-33-1952

募集

1997～'98年度「意義ある業績賞」

応募のご案内

“意義ある業績賞”とは、ロータリークラブの奉仕活動の中で最も意義のある業績にふさわしいものを表彰するプログラムです。ガバナーが受賞クラブを選ぶものと定められています。

ガバナーが意義ある業績賞の受賞クラブを選定する場合の参考基準は、次の5項目です。

- (1) そのプロジェクトが地元の地域社会において、或いはそこに限らず、誰の目から見ても重要な問題、またニーズを対象とするものであること。
- (2) そのプロジェクトが単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものであること。
- (3) そのプロジェクトが他のロータリークラブもこれと競争して行うことができるようなものであること。

- (4) そのプロジェクトが当該年度に始められたものであることを要しないが、その事業が現に実施中のものであること、もしくは、その表彰の行われるロータリー年度に終わられるものであること。

■応募要項

1. 意義ある業績賞選考委員
委員長 宮地 信尚 (パストガバナー)
委員 蜂谷 弘道 ()
委員 石川 和昌 ()
委員 松本 宏 ()
2. 申請提出締切日…10月31日(金)必着
3. 申込書提出先…ガバナー事務所内・地区選考委員会
4. 申込書書式…自由

地区委員会からのお知らせ

財団奨学金(小)委員会

委員長 長谷川 二郎

地区会員の皆様には財団奨学生のことに付きまして多大な御協力をいただき感謝致しております。

1998-99年度の奨学生選考試験を1997年5月31日愛知学院本部で行ないました。応募された方々はいずれもきわめて高い教養と知識の持ち主であり、とくに語学力はそれを選考の基準としているだけにすべての人が優れていました。

一方、選考に際しては選考委員の鋭くかつ幅広い質問に回答しなければなりませんので受験された方々はきわめて緊張されたことでありましょう。これらの方々のすべてを合格にしたいほどでありましたが当地区に割り当てられた人数がありますので、その範囲内にとどめました。選考にはずいぶん時間を要しましたがこれも個性と感性のより優れた、しかも国際感覚を身につけた最良の人を選ぼうとしたためです。

ロータリー財団奨学生はいうまでもなく世界の人々と共に語り、世界のさまざまな学府で学ぶことを通して国際親善に寄与していただくのですから選

考する私達にも大きな責任が与えられております。

幸いなことに本年度もまた素晴らしい人材を選ぶことができました。これもひとえに御推薦、御指導いただいた各クラブの会長さん始めカウンセラーの皆様ののおかげであり心から感謝申しあげる次第です。

国際友好(小)委員会

委員長 中野 博三

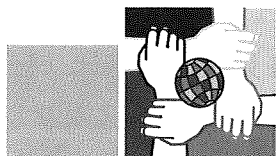
国際ロータリー友情交換プログラムにご参加下さい。このプログラムは、ロータリアンとその家族のためのものであり、他の国のロータリアン家庭にホームステイし、直に異文化を体験する機会を提供してくれます。ロータリアンには、このプログラムに参加することで、自己の視野を広げながら、国際理解の推進に寄与することが出来ます。※詳細は1995手続要覧P.96をご参照下さい。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山本 真市様 (豊橋北R.C.)	7月15日
鈴木 寅三様 (あまR.C.)	7月17日
大石 昌由様 (豊橋北R.C.)	7月23日





ロータリーの心を
あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に

「ロータリーワールド」1997年7月 第4巻 第1号 より

ハイアット氏をRIの 事務総長に任命

国際ロータリー理事会は、米国ジョージア州メイコンの、大学学長で元RI理事である、S.アーロン・ハイアット氏を当国際組織の事務総長に選出いたしました。ハイアット氏は、米国イリノイ州エバンストンの世界本部ならびに世界の8カ所に所在するサービス・センターの運営、管理についての責任者となります。

ハイアット氏は、1985年以来、ジョージア州の大学組織の一つであるメイコン州立大学の学長で、メイコン・ロータリー・クラブの会員で、1985-86年度には地区ガバナー、1994-96年度には国際ロータリー理事をつとめられました。

ハイアット氏は、研究、計画、開発および経営の面における広範な知識と技能を彼の新しい職場に傾注されることになります。氏は、また、地元の社会、地域、国際レベルにおける公共事業や文化団体においてもボランティアとしてリーダーシップを発揮してこられた方です。

※8月1日付をもって就任

国際大会で選挙された 1998-2000年度理事

次の8人のロータリアンは、グラスゴーにおける1997年国際ロータリー年次大会において、正式に理事エレクトとなられた方々です。

この8人のロータリアンは、1998年7月1日付をもって、国際ロータリー理事に就任され、2年間、理事をつとめられます。

- ウィリアム・B・ボイド、ニュージーランド、オークランド、パ克蘭ガ・ロータリー・クラブ
- ロン・D・バートン、米国オクラホマ州ノーマン・ロータリー・クラブ
- アブラハム・I・ゴードン、米国コネチカット州ブリッジポート・ロータリー・クラブ
- フィン・O・ヨハンセン、ノルウェー、チャロテンルン・ロータリー・クラブ
- 小谷隆一、日本、京都ロータリー・クラブ
- ロバート・L・メンコニ

- カルロ・モンティチェッリ、イタリア、ミラノ東南ロータリー・クラブ
- フリオ・ソージュス、スペイン、バルセロナ・コンダル・ロータリー・クラブ

理事会が、中華人民共和国、 その他5カ国をロータリーの 拡大可能地域として承認

政治的変遷と新しい機会を認知した国際ロータリーの理事会は、中華人民共和国および東欧と中央アジアの5カ国をロータリーの拡大可能地域として承認しました。

中国に関する決議は、3月の理事会において、7月1日付をもって香港に所在する42のロータリー・クラブが中華人民共和国に含まれる事実に基づき採択されたものです。隣接のマカオに所在する5つのクラブは、1999年にポルトガルの管轄から中国に移管されることになっていきます。香港のRI第3450地区に留まることになっています。

中華人民共和国のその他の地域における新クラブの結成は、理事会と中国政府との間で、ロータリーの基準を満たす拡大についての合意が成立するまでは着手されません。

中国での最初のロータリー・クラブは、1919年に上海に結成されました。1950年には、23のクラブがありましたが、新しく成立した中華人民共和国がそれらのクラブを解散させました。今日、中国人によるクラブの大多数は中国（台湾）に所在し、1996年末現在、同島には、330のクラブと13,600人の会員を有します。

近年、台湾、マカオ、香港のロータリー・クラブは、皆、中華人民共和国と提携を結び、交換プログラム、奨学金、人道的奉仕プロジェクトなどを実施しています。また、世界各地のロータリー・クラブも同じようなプログラムを行なっています。

ロータリー・クラブが所在しない国においてもロータリーについての関心が高まりつつある事実喜び、理事会は、アゼルバイジャン、モルドバ、キルギスタン、ウズベキスタンの各共和国をロータリーの拡大可能地域として承認しました。これらの元ソ連の一部であった共和国での拡大活動は、会長任命の拡大責任者が実地調査を行い、その結果次第によって着手されます。

豊川宝飯 ロータリークラブ

会長 内藤 泰通

豊川宝飯RCの創立は、1985年12月24日豊川RCさんを親クラブとして、39名のチャーターメンバーにて誕生しました。

この12年間の業績を重視し、本年度も奉仕・親睦活動を重点目標として全員で努力したいと思います。

当クラブは社会奉仕活動の中の環境問題として排水路水質汚濁対策でバイオコードによる河川浄化という事で、今までに市内5ヶ所にバイオコードを設置しました。このバイオコード（ひも状接触材）を用いた河川の直接浄化方法は河川が元来持つ自浄作用を基とした水処理方法のことです。微生物の作用により酸化、分解され、浄化現象を利用したものです。組紐ロープでバイオコードを開発し、河川浄化に貢献しています。なおこのバイオコードの開発者は当クラブの6代会長の伴会員です。今春、第17回科学技術庁長官賞を受賞されました。

創立10周年の記念事業として、地域の伝統や文化を見直し地域において足元を見つめ直そうという動きが文化や伝統の発掘や継承などに止まらず、地域の活性化にも大きく貢献していることは着目すべき事実です。

こうした状況の中で地域を見直す運動として国指定重要文化財、財賀寺の仁王様（木造金剛力士立像）を帰郷させる事を目的とした一連の事業をここに提唱します。豊川宝飯RCは、初めに仁王様を里帰りさせる会で発足し、創立10周年記念事業としてカムバック仁王様運動で発表され、後に豊川文化協会の皆さんが中心となり現在に至っております。この財賀寺の仁王様は、昭和56年から昭和59年にかけて京都の美術院国宝修理所で修理され、今は奈良国立博物館へ移され保存管理されています。仁王様を帰郷させるためには、仁王門を修復させることが前提となり、そのためには3億円程度の予算が必要で、国の補助対象事業として採択されて地元で10%の負担が必要になり、国に対して予算化の働きかけをして同時に負担金づくりと気運を盛り上げ事業を成功させたいと努力しております。

●豊川宝飯ロータリークラブ

創 立 昭和60年12月24日

承 認 昭和61年1月21日

チャーターメンバー 39名

チャーターナイト 昭和61年5月10日

特 別 代 表 宮地信尚 氏

スポンサークラブ 豊川ロータリークラブ

事 務 所 豊川商工会議所会館内

例 会 場 豊川商工会議所

例 会 時 間 火曜日12:30~13:30

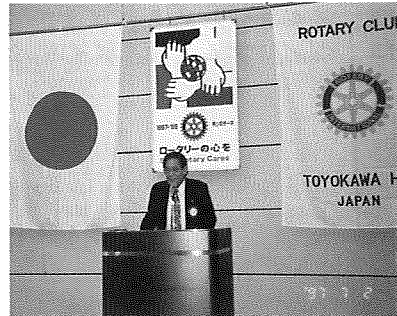
テリトリ 豊川市及び宝飯郡4町（音羽町、一宮町、小坂井町、御津町）



バイオコード設置



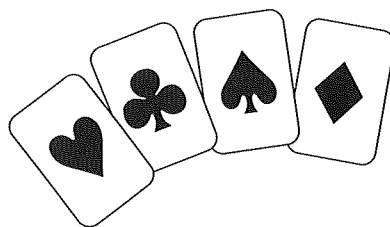
仁王様帰郷運動



同好会紹介

あまロータリークラブ 奇術部

大竹 和美



ロータリークラブの親睦活動のうち、色々と趣味の会を楽しんでおられる例は多い事ですが、奇術の趣味グループと言うのは珍しいのではないかと思います。

あまクラブにはアマチュアのマジシャンが結構多いのです。そして夫々に個人的にもグループでも奇術を楽しんでおります。

奇術の効用等については後程述べる事として、「あまクラブ奇術部」についてご紹介致します。

私が中心になっていると言うわけではなく、実際はパスト会長でもある山田幸治会員が熱心にお世話役を買って頂いております。

私はお手伝い役の一員の立場で、むしろ山田さんにクラブ活動の紹介をして頂くのが本来であるかと考えますが、原稿提出に時間の余裕が無かったため、私が担当する羽目になりました。

◎あまクラブ奇術部の歴史

昭和45年5月に発足しました。あまクラブ創立1年後と言うことになります。

渡辺一弘、山田幸治、鈴木孝則、宮本、木全、大竹各会員はアマチュア奇術家としての経験者で、夫々個性のあるノウハウをお持ちのため、技術面でお手伝いをさせてもらっております。

◎現況

21名の所帯ですが、不定期に会合を持ち、マジックの練習や演技発表を楽しんでおります。

◎会員の活動

そして夫々にパーティー、宴会、二次会、三次会等で大受けしては悦に入ってるようです。

また、あまクラブその他の家族会、地域の青少年活動等にボランティアで協力させて頂き、細やかなお役にも立っているのかなと自己満足もしております。

◎ロータリーと奇術

RI世界親睦活動の中に奇術のグループもあり活発に情報交換等を行っております。

かつて当地区国際奉仕委員会WCS活動で、会員がフィリピン、タイその他各地で、奇術を活用され大いに喜ばれた話も聞いております。

◎奇術の効用について一言

奇術とは「不思議な現象を見せて人を楽しませ自分も楽しむもの」と言われております。

相手の多い少ないには特に関係なく、国籍老若男女を問わず充分楽しめます。

海外へ行った時、また外国人の訪問を受けた時など言葉の不足を充分補ってくれます。

何時、何処でも、誰とでも、奇術のお陰で直ぐ友人になれるのも有り難い事です。

健康にも良いと思います。手先は勿論、頭も結構使うので、老化防止にも役立つ事請け合い。

森泰樹パストガバナーはドクター、医学者として著名ですが、各方面の著書も多く多趣味な文化人でもいらっしゃいます。奇術が大変お好きで、ご造詣も深く、合わせてご紹介させていただきます。



1流と3流の話

ガバナー 犬飼 栄輝

私たちはいろいろな目的で旅行をし、旅先ではホテルや旅館に泊まります。お値段にもよるが、いいホテルだったなと思う時もあれば、そうでないこともあります。

主観的というか、人によってちがう部分は別として、一般論でいうホテルの3要素は

○設備 ○お料理 ○人的サービス
です。設備はデラックスかどうかだけではなく、お客様の安全面が大切です。それに露天風呂とか、テニスコートやプールがあるかどうか、大きな差になります。

最近は旅なれたお客様がふえ、プロの旅行屋も目をむくような情報をお持ちの方が多くなりました。しかしベテランの旅行屋には、また切り口のちがうホテルの見方があります。企業秘密という程のものでもありませんが、旅行のプロがホテルの1流か3流かを見分けるチェックポイントを内緒で！公開します。

○まずメイドさんや係の方が廊下の真中を歩いているホテルは3流です。1流ホテルでは必ず右か左の端を歩きます。

○メイドさんとすれちがった時、軽い会釈と笑顔、そして挨拶が返ってくるのは1流。3流では衝突しても何も言いません。

○メイドさんや係の方どうしの私語が多いのは3流です。仕事に必要なこと以外、お客様の前では自分たちだけの話をする必要はありません。学校でも授業中に私語が多いのは3流。ロータリーの例会で、誰かが演壇で話している時に、私語が出るのはやはり3流です。

○電話は外からの館内電話もベルが3回鳴るまでに出るのが1流です。電話のタライ回しで、お客様をイライラさせるホテルは3流です。最近は敬語の使い方も下手になっているようです。

○熱いものは熱いうちに、つめたいものは冷えた状態で出すのが1流です。冷えたみそ汁や焼き魚は論外ですが、逆に熱くて飲めないようなカン酒もいけません。最近は1流ホテルで、超アツカン酒がふえています。

○メイドさんやウエイトレスの爪が、自然色でないのは3流です。髪が長過ぎるのも3流。清潔感が大切です。

○レストランではフロアマネージャーというか、いつも全体のお客様の流れを見ている人がいるのは1流です。忙しくなると、ウエイターだけでは全体の流れを見る余裕がなくなります。

こうして並べて見ると、1流と3流のちがいはお金と余り関係のないところで決まるようです。

要するに経営者の方、あるいは支配人がどこまで「やる気」があるか、ということです。それと支配人の方針を、全部の従業員が納得して実行する気になっているかどうかです。

設備は1流、サービスは3流と言われたらおしまいです。

貴方はいつも1流ホテルに泊まっていらっしゃいますか。あるいは3流に近いですか。

いや、そんなことよりも、貴方の事務所は1流でしょうか。人的サービスの向上は、ホテルだけの問題ではありません。

サービスの原点は人が人のために尽すこと、いつもお客様の立場で考え、感じるのだと思います。言葉にすると簡単ですが、これは大変むずかしいことです。ホテルはもちろん、旅行屋も鉄道も観光バスも、病院も自由業もお役所でさえも、今はサービス競争の時代です。

人のふり見て、我がふり直せです。

「おまえの会社は3流だよ」と言われないように、私も気をつけます。



1997-98年 超我の奉仕賞

顕著なロータリー奉仕に対する国際ロータリーの表彰

RI超我の奉仕賞

ロータリーが他の奉仕団体から傑出している一つの面は、他人に奉仕し、世界をより住みよい場所とするよう、ロータリアンが積極的に関与しているということです。故に、国際ロータリーは、RIの活動に寄与し、その努力を通じロータリーのモットーである超我の奉仕を実証されたロータリアンを表彰し、超我の奉仕表彰状を贈呈したいと考えております。

国際ロータリーが卓越した奉仕に対して贈る重要な賞は幾つかあります。ロータリー財団功労表彰状およびロータリー財団特別功労賞はロータリー財団を通じて多大の功労のあったロータリアンに贈られます。それに対し、RI超我の奉仕賞は、あらゆるレベルで、あらゆる種類の模範的なロータリー奉仕活動を表彰するために、RI理事会により設けられました。RI超我の奉仕賞は、さもなければ表彰されなかった人、超我の奉仕の生きた模範である人を表彰する方法です。

受賞資格

●次の人を除き、瑕疵のないロータリアンならば誰でも受賞の対象となれます。

地区ガバナー 直前地区ガバナー 地区ガバナー・ノミニ
RI理事 RI次期理事 元理事

●自身を受賞者に推薦することはできません。

●本賞を受賞できるのは1回限りです。

選定基準

●受賞候補者は、ロータリーを通じて積極的にボランティア活動や他人への奉仕活動に力を入れ、あらゆるレベルで、あらゆる種類の模範的な人道的奉仕を実証した人でなければなりません。

●ロータリーを通じて行われる候補者の奉仕は、続けて実施されているものでなければなりません。

推薦書受理締切日：1997年9月15日

推薦の指針

●現任および直前地区ガバナー、並びに現任およびRI元理事のみが推薦できる。

●毎年、150人を限度として選ばれる。

●推薦は規定の書式を使用し、候補者がロータリーを通じて行った奉仕活動を簡潔に記述すること。追加資料は選考委員会により審査されない。

●RI理事会の審査を受けるために、推薦書は、全て受理締切日までにRI世界本部に到着しなければならない。締切日以後に到着した推薦書は審査に付されない。

※詳細はガバナー事務所へお問い合わせ下さい。

文庫通信 118号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

貧困・飢餓・識字率（新年度のテーマ）に関する資料

- | | | | |
|--------------------------------|-------|-------|-----|
| ◎「会長のメッセージ 貧困と飢餓について」 | R. I. | 1997年 | |
| ◎「識字率の向上を促進するロータリー」 | R. I. | 1997年 | |
| ◎「飢餓との闘い…飢餓救済団体のリスト」 | R. I. | 1994年 | 35頁 |
| ◎「世界社会奉仕プロジェクト交換 1996-97年度第1号」 | R. I. | 1996年 | 55頁 |

[上記申込先 サービス・センター TEL (03) 3355-5391]

ビデオテープ

- | | | | |
|--------------------|-------|-------|-----|
| ◎「活動するロータリー：飢餓と栄養」 | R. I. | 1994年 | 12分 |
| ◎「活動するロータリー：保健と治療」 | R. I. | 1994年 | 15分 |
| ◎「援助の手（3-Hプロジェクト）」 | R. I. | 1990年 | 16分 |

スライド

- | | | | |
|----------------|-------|-------|---------|
| ◎「識字率の向上を推進する」 | R. I. | 1993年 | 40枚・台本付 |
|----------------|-------|-------|---------|

[上記購入：サービス・センター TEL (03) 3355-5391 借用：ロータリー文庫]

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロータリー文庫

地区大会のご案内

1997.11/8 [土]・9 [日]・10 [月]

21世紀に向かって “創造と交歓” in TAHARA 田原

地区大会スケジュール

11/8 [土] 大会第1日目
会場／トヨタ自動車田原工場田原バス
飛鳥船上 & 大型テント村

大会本会議第1日

- 10:00 地区諮問委員会
信任状資格審査委員会 選挙管理委員会
大会決議委員会 登録委員会
- 11:30 R.I.会長代理を囲む食卓会
- 12:00 本会議登録受付開始※
- 12:45 本会議開催
- 14:10 ロータリーミーティング
テーマ「ロータリーの心を、自然と共に。」
表彰 他
- 17:15 本会議閉会
- 18:30 R.I.会長代理ご夫妻歓迎夕食会
※出席義務者／会長・幹事

11/9 [日] 大会第2日目
会場／トヨタ自動車田原工場田原バス
飛鳥船上 & 大型テント村

大会本会議第2日

- 10:30 本会議登録受付開始※
- 11:30 R.I.会長代理主催顕彰昼食会
(新PHF、新MF、新BF、新米山功労者)
参加者昼食
- 12:30 本会議開会
- 14:30 青少年奉仕活動の紹介
- 15:20 特別記念講演
講師／飛鳥船長 幡野 保裕氏 (予定)
- 16:15 講評
- 17:00 本会議閉会
※出席義務者／会長・会長エレクト・幹事・クラブ奉仕・
職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報の各委
員長・入会3年未満のロータリアン

11/10 [月] 大会第3日目
会場／伊良湖シーサイドゴルフ倶楽部

記念ゴルフ大会

- 7:30 登録受付
- 8:00 アウト・イン同時スタート
18ホールズストロークプレー
ダブルペリア方式
- 17:00 パーティ及び表彰式
- 18:00 閉会



●マークの意味

“飛鳥”船上の大会であることをイメージし、さらに21世紀に向かっての“創造と交歓”を意味する。田原町のキャッチフレーズである碧い海、緑の大地に加え、慈愛の太陽と歓びを色彩によって表現

登録・宿泊のお知らせ

大会登録料 ————— 17,000円 (会員)

10,000円 (同伴者)

R.I.会長代理ご夫妻歓迎夕食会・宿泊

————— 30,000円 (お一人様)

*夕食会は飛鳥で開催されますので宿泊となります。

記念ゴルフ大会 ————— 8,000円 (プレイ代別)

ファミリープログラム

田原町博物館見学

500年余の城下町の歴史をもつ田原町。

学者・画家・政治家であった渡辺崋山は田原藩の繁栄に貢献しながらも、先駆的であったため非難され、ついには自刃して果てました。田原城跡にある博物館には渡辺崋山を含む田原藩の歴史と伝統が多数展示・保存されています。

アトラクション

和太鼓演奏一渥美太鼓 願成観音太鼓



TAHARA

1997～'98年度
国際ロータリー
第2760地区・地区大会

地区大会事務局／田原ロータリークラブ

〒441-34 渥美郡田原町巴江12-1 崋山会館内

TEL.05312-2-0831 FAX.05312-3-1216

コ・ホスト／田原パシフィックロータリークラブ